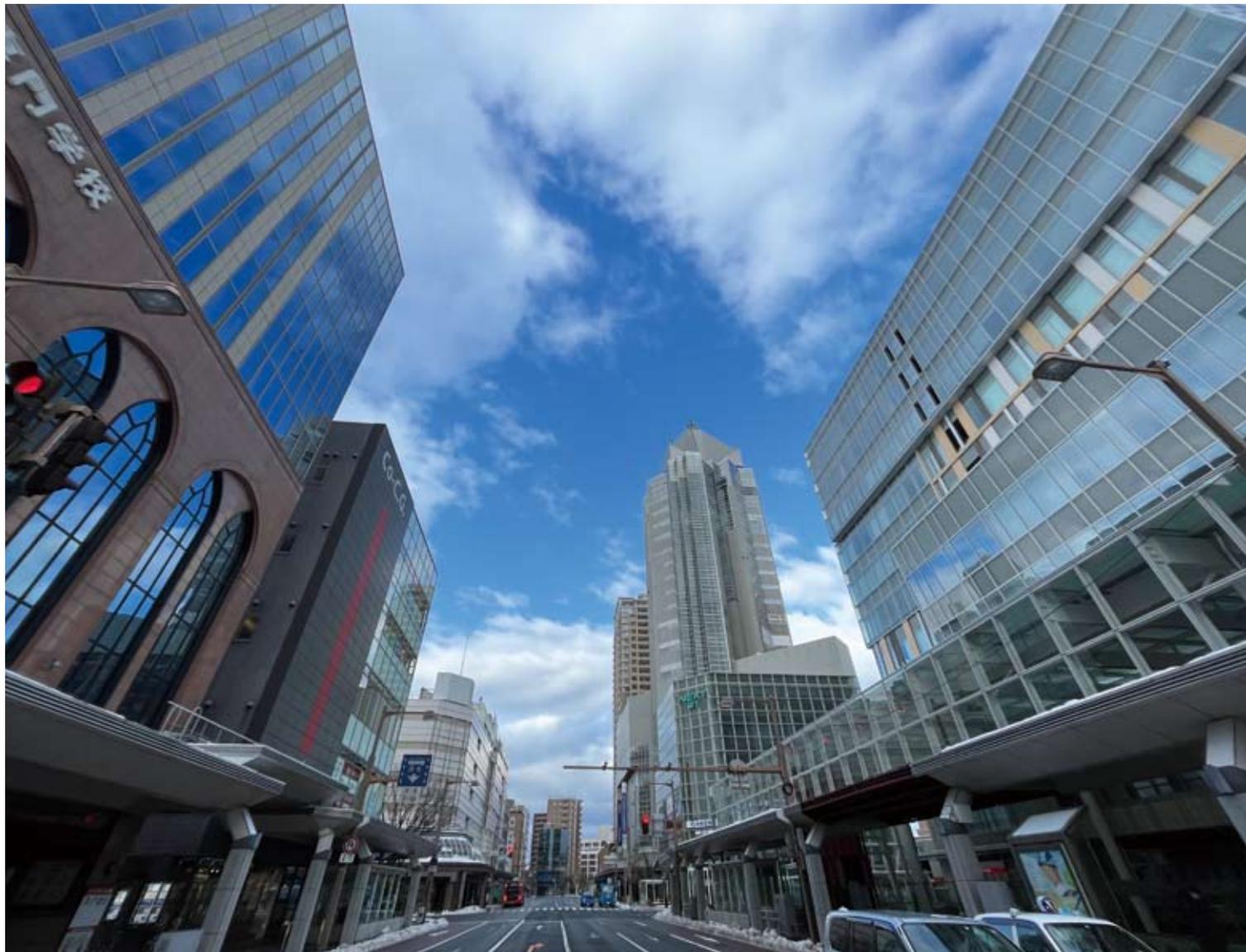


# ガバナー一月信



写真提供：田中 雅史(新潟南 RC)

## 月信 2月号

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| ① ガバナーメッセージ            | ⑨ クラブ近況報告(加茂 RC)  |
| ② 高橋ガバナーエレクトご夫婦激励会のご報告 | ⑩ クラブ近況報告(長岡西 RC) |
| ③ 米山記念奨学生選考会のご報告       | ⑪ クラブ近況報告(高田 RC)  |
| ④ クラブ近況報告(豊栄 RC)       | ⑫ 会員数及び出席報告       |
| ⑤ クラブ近況報告(水原 RC)       | ⑬ 地区主要行事予定(2月・3月) |
| ⑥ クラブ近況報告(新潟西 RC)      | ⑭ 新入会員紹介・訃報       |
| ⑦ クラブ近況報告(新津中央 RC)     | ⑮ コーディネーターニュース    |
| ⑧ クラブ近況報告(三条南 RC)      | ⑯ ハイライトよねやま       |

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度

**高尾ガバナー事務所**

新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F  
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



## 平和と紛争予防 / 紛争解決月間と 今年度の地区大会について

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度 ガバナー

**高尾 茂典** (新潟中央 RC)

令和4年の新しい年を迎え、1か月過ぎました。厳しい季節が続く、春の訪れが待ち遠しいこの頃です。昨年暮れはコロナ対策の徹底により県内感染者数の1桁台が続く、皆様が努力をされた結果だと思っておりましたが、オミクロン株の世界的な感染拡大の大きな波が日本にも押し寄せ、新潟県も連日最多の感染者数を記録し、まん延防止等重点措置を国に要請せざるを得ない緊急事態の中、皆様もご苦勞なさっていると思います。

ロータリー活動もこの厳しい状況のなかとはいえ、ストップするわけには参りません。この2年間の経験を活かし感染対策と皆様の健康を守ることを最優先に、各クラブ会長様はじめ、理事役員の皆様とご協議の上、例会や様々な活動について今出来ることをしっかりと取り組んで頂きたいと思えます。1日も早く感染の拡大が収束し、思うようなロータリー活動や社会活動が出来る日が訪れることを願っております。

2月は「平和と紛争予防/紛争解決」月間です。今日、紛争や人権侵害によって7000万人が難民となり、またその半数が子どもという現実があります。ロータリーはこの解決のための活動を重点分野の一つにしており、世界平和と開発の担い手となる人材の育成をするために、ロータリー平和センターを設置し2002年の創設以来、提携大学で学ぶ1400人以上のフェローを輩出し、卒業したフェローは115カ国以上の政府、NGO、教育、国連、世界銀行といった国際機関で平和分野のキャリアを築いています。平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。私たちロータリアンの寄付が、難民とその子どもたちに大きな力になり、後世の平和に恒久的に役立ちます。引き続き、皆様のお力添えとご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

今年度の地区大会記念ゴルフ大会は、4/12(火)フォレストカントリー倶楽部にて開催いたします。地区大会は、4/16(土)・4/17(日)の2日間の日程にて開催の予定にしております。

1日目の16日(土)は、(株)ハードオフコーポレーション 代表取締役会長 山本善政氏

2日目の17日(日)は、(株)船橋屋 代表取締役社長 渡辺雅司氏

のお二人の素晴らしい記念講演を予定しております。ロータリーを十分に理解し、また事業としても大成功されているお二人です。他に、古町芸妓の踊りや万代太鼓の演奏など、新潟らしい出し物も予定しております。楽しみにして頂き、そして多くのロータリアンのご参加をお待ちしております。



## 「高橋ガバナーエレクト激励会」

国際ロータリー第2560地区  
2022-23年度地区幹事

山田 隆一（新潟RC）

2021年12月18日（土）高橋ガバナーエレクトご夫妻激励会がANAクラウンプラザホテル新潟で開催されました。

当日は激励会に先立ち、「三年度三役会議」「2022-23年度地区運営会議」「地区諮問委員会」も催されました。

「2022-23年度地区運営会議」では、高橋ガバナーエレクトから「COVID-19の為に厳しい地区運営が予想されるが、へこたれず『再生』し工夫と試行により『新生』し、クラブと地区が、クラブとクラブが、そしてロータリアンと社会が助け合い『共生』していくことを重視する考え」を地区運営方針として説明しました。

続いて地区組織・予算・ガバナー月信・今後のスケジュール・四大大会・公式訪問について等、各担当より発表があり意見交換しました。

「激励会」は、高尾年度の皆様のご配慮により短時間でシンプルながら意義のある心温まる会となりました。

始めのご挨拶を高尾ガバナー、乾杯を石本パストガバナー、中締めを渡辺パストガバナーとそれぞれのご経験からの貴重なアドバイスや激励を頂きました。



お集まりの皆様に心より感謝申し上げます。

今後は高橋年度、スタッフ一丸となり地区の運営に尽力致す所存ですので皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 1月15日開催 米山記念奨学生選考会について

国際ロータリー第2560地区  
2021-22年度 米山記念奨学委員会  
奨学生選考委員長

**野澤 修** (新潟東 RC)

国際ロータリー第2560地区米山記念奨学委員会は、2022学年度採用の米山記念奨学生選考会を1月15日に開催しました。今回は地区新規採用数19名のところ、53名の申込者がありました。

今年の選考会は新型コロナウイルス感染拡大の中、実施されましたので、当日、面接官を担当するロータリアン全員が事前に抗原検査を済ませ、陰性であることを確認したのちに選考会に臨みました。

米山記念奨学生の選考会は、一日で約50名の学生の審査を行いますので、米山記念奨学委員会にとって一年の中で最も重要な一日と言っても過言ではありません。

当地区では書類審査の後、個人面接とグループディスカッションを実施します。グループディスカッションでは、学生の個人面接では見えない一面も見ることができます。リーダーシップ、協調性、自己主張等です。

グループディスカッションはもちろん日本語での討論となりますが、与えられた時間の中で自分の考えを流暢な日本語でしっかりと主張できる姿には、毎回、私達も驚かされます。

4月から新しく米山記念奨学生となる19名の学生を迎え、この奨学事業の使命である留学生の優れた学業の達成を支援すること、そして、ロータリー精神を学んでもらい、国際理解を深め、日本と母国の架け橋となるような人材に育つよう我々も尽力していきたいと思えます。

引き続き、米山記念奨学事業へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。





## 豊栄がラプンツェルの世界に！ スカイランタン事業のご報告

豊栄ロータリークラブ  
篠沢 貴徳

2021年10月15日（金）豊栄 RC50th Anniversary Event として、子どもたちの笑顔と思い出作りをコンセプトに LED スカイランタンの打ち上げを行いました。本事業は佐藤会長の命を受け、本年度新入会員が企画する事業でした。コロナ禍で制約の多い児童・生徒たちに積極的に参加してもらうため、「美しさ」「遊び心」「創造的」「感動」が複合するイベント企画を強く意識しました。

PTA を含む地域の他団体にも声がけをして協賛を募り、葛塚中学校 280 基、葛塚東小学校 120 基、合計 400 基のスカイランタンを打ち上げることが出来ました。参加した児童・生徒たちは全員に配布されている iPad で思い出の写真や動画を撮って、友人たちとの思い出を記録し歓喜の声をあげていました。

また、同様の事業を希望する中学校と他団体にも当クラブの事業計画を共有し、葛塚以外でも二つの中学校で LED スカイランタン 100 基ずつの打ち上げ実施に協力しました。後日、関わった学校の校長先生をはじめ多くの人たちから、「子どもたちに、このようなチャンスを作ってもらい感謝しています。」とご連絡もいただきました。

子どもたちが喜び、良き学校生活の思い出を心に刻んでもらいたい。それはロータリアンだけでなく誰もが願う事です。そのきっかけである第一歩を私たち豊栄 RC が踏み出したことに大きな意義があると実感できる事業でありました。





## 近況報告 ロータリーを楽しもう

水原ロータリークラブ  
会長 喜多 美俊

今年度は、第一分区での羽田ガバナー補佐を輩出し、IM を主催するとの事で、1 年前より武田実行委員長の元、10 月 23 日の開催日に向けて 8 回以上の実行委員会会議を重ね、8 月末まで 2 パターンの開催計画を積み上げてきましたが、コロナ禍での開催を確認し、初めての会場+ハイブリット形態で第一分区全員が参加できる同時YouTube配信とさせていただきます。終了後に全員で「大成功だった」と自画自賛して、大いに喜び合いました。

地区補助金を利用した水原中学校の中庭の整備は、3 年前私が会長の時に、何にもない中庭に生徒達の提案も聞きながら阿賀野市の「結い桜」の植樹と花壇を作りましたが、今回は 2 月に次期生徒会長たちの提案で、水原中学校の水を基に生徒の描いた絵に添って庭園制作を 2 回に分けて生徒会・PTA・同窓会会員・先生とロータリアン含め総勢 153 人で実施し、作業の時だけ雨も降らず生徒達も泥だらけになりながらも生き生きと協力して作業してくれ、子供達にも感動しました。

阿賀野市は幸いにもコロナの発生が少なかったので、通常の例会を重ねてきました。例会場の天朝閣 3 階も十分広くて楽しい例会を開催し、クリスマス家族会も大勢の子供達や家族が参加し、先輩ロータリアンより「とても楽しいクリスマス有難う」の言葉ももらいました。これからも楽しいロータリー活動を実施していきます。





## クラブのこれまでの活動報告

新潟西ロータリークラブ  
会長 森田 雅巳

新潟西ロータリークラブは、現在 40 名の会員で活動しています。

7 月よりスタートし、7 月末には夕日夜例会を例会会場のホテルオークラ新潟にて開催しました。あいにくの雨で屋内での開催となりましたが、会員相互の親睦を深めることが出来ました。

8 月に入ると、新型コロナウイルスの感染が拡大傾向となり、例会会場では、検温・消毒・パーテーション設置等、感染対策を行いながら開催しましたが、9 月は全て Web 例会となりました。

10 月 23 日には、社会奉仕活動として、児童養護施設「新潟天使園」において、屋外の清掃活動や庭木の伐採をメンバー多数の参加で行い、空気清浄器を 2 台寄贈させて頂きました。残念ながら、感染を考慮し、施設の子供たちとの交流は出来ませんが、施設の皆様方からは大変喜んで頂きました。

11 月のガバナー訪問は、例会会場に直接訪問して頂き、貴重な時間となりました。

12 月は、年次総会を無事終え、月末には、新潟市西区出身で元宝塚月組組長・女優の越乃リュウさんをお招きし、感染対策に考慮しながらもクリスマス例会を開催することが出来ました。

残り半分となりましたが、感染状況を注視しながら、クラブの活動運営をしていきたいと思えます。





## クラブ近況報告

新津中央ロータリークラブ  
会長 望月 治

「クラブの調和」共に語り、共に行動（奉仕）し、共に楽しもう！をテーマとし、今年度は特に3つの事に重点を置いてクラブ運営をスタート致しました。1つ目は奉仕委員会、この委員会は会員数の減少から、ひとまず職業・社会・青少年奉仕委員会を統合した委員会で、只今、2月に秋葉区文化会館で青少年奉仕に関する講演会の開催の計画をしています。新型コロナウイルス感染が増えている状況ですが計画を中止することではなく、今、私たちが「できること」を考え準備を進めているところです。2つ目は、親睦・広報委員会です。こちらも2つの委員会を1つに集約した委員会ですが、親睦にしましては、会員全員が「楽しい」と思える例会づくりに取り組んでいます。広報活動は、早めに週報を作成し、早めに皆さんに報告する事を心掛けており、また、例会・委員会活動などロータリークラブがどんな活動を行っているのかを広く周知するためにSNS等を活用し、地元ラジオでクラブのCMを流して情報を発信しています。3つ目は会員増強です。今年度は男性5人・女性1人の増強を目標に掲げ、1月末時点で、男性2人・女性1名の入会が決まりました。この状況で行くと年度の終わりまでにはなんとか目標を達成できるところまで来ていると思っております。

他にも、最低月1回の委員会と例会時に委員会報告を各委員会にお願いをして、委員会活動を活発にすることで、ロータリー活動を活性化させ、ニコニコ・財団・米山ボックスの寄付に対しては、入会年度が浅い会員や新入会員の方が、何のために寄付するのかが分かるように週報に簡単な目的を記載し、目標金額・目標達成までの残りの金額も記載する事で、寄付に対する機運を高めています。その途中経過も年度の半分が過ぎましたが、それぞれの目標金額も、約半分くらいまで到達しています。ポリオの寄付に関しましては、1人30ドルの目標金額は1月末時点で達成をいたしました。クラブの皆さんの協力のおかげで、いろいろな取り組みを実施させて頂いており感謝をしています。これからはクラブ戦略計画で、これから先を見据えたクラブの骨格を作り、それを次年度へ引継ぎをし、地域社会への貢献、新津中央ロータリークラブの発展の為に活動していきます。



## クラブ近況報告

三条南ロータリークラブ  
会長 平松 修之

相変わらず勢力の衰えない新型コロナウイルスに振り回されたまま、引き続き後半の年度がスタートしました。状況は何一つ変わらず、かえって新しい変異株「オミクロン株」に攻撃を受けている真只中であります。通常の例会も昨年の秋以降は落ち着いてきたかのようでしたが、「今なら旅行、今なら宴会」等で心配されていた通り、日本国内でも第6波の波が押し寄せてきています。近況としては時節柄、新年会の予定も各クラブであると思いますが、現時点では中止や持帰り等の話が多数出ています。通常の例会も短縮例会や昼食の持帰り等でなんとか行っていますが、今後の状況によってはリモート開催や最悪の場合は休会も考慮しなければならぬと覚悟はしています。当クラブでも感染拡大の予防を再度徹底して、会員の安全を最大限に考慮して行きたいと考えております。

今年度のテーマを「継続こそ前進。」として、続けることが最優先と信じスタートした訳ですが、なかなか状況は難しく、クラブの運営にも大きな支障が生じております。最大の目標でもある退会防止と会員増強の推進は思った以上に問題があり、今後の残された半年の大きな課題ともなっています。コロナウイルス感染の影響だけでなく、地球規模で人口問題、環境問題、エネルギー問題などを抱えて、社会全体が大きく変わろうとしているのを強く感じます。仕事も家庭も、ロータリーの活動も前向きに、こんな時だからこそ明るく楽しく、笑顔を忘れずに地道に継続、前進してクラブの発展に繋がるよう努力したいと思っております。

昨年7月には社会奉仕活動として、ロータリー財団地区補助金を申請し、三条市へAED（自動体外式除細動器）2台の寄贈を致しました。市長室において贈呈式を行い、1台は三条市本成寺公民館に設置、もう1台はワクチン接種会場への携行用に使うことになりました。AEDの寄贈は当クラブでは2010年から6年続いた事業でもあり、今年度6年ぶりに復活できたことを嬉しく思っております。また、コロナ感染の比較的落ち着いた11月には職場例会も実現できました。地元企業の(株)諏訪田製作所様にお邪魔させて頂き、小林知行社長様からの楽しいお話や、最先端のOPEN FACTORYを見学できました。今後も何かと制限の多い時期が続くと思っておりますが、こつこつと継続していきたいと考えています。





## いつもと変わらない例会を

加茂ロータリークラブ  
会長 石附 孝子

前年度から引き続き COVID-19 の感染拡大に伴いクラブの活動は大変な影響を受けて、例会の休会を決断しなければならない状況が起きています。

そうした中でも会員の皆さんより強力な応援を頂き、楽しくなる例会を心掛けて運営しております。SAA の発案で例会時には演台にお花を飾って頂いております。女性会長ということでお花を添えて頂き、加茂クラブには事務局を入れて 7 名の女性が在籍しておりますが、よりやさしさに溢れるようにとの心づかいに嬉しく思っております。

今年度 2 名の入会がありました。女性 1 名、男性 1 名の新しい仲間です。いずれも真摯に仕事に向き合う姿勢が見受けられる事は勿論の事、地元に対する熱い想いを感じられ大変頼もしく、良い刺激を受けています。3 名の増強を重点目標に掲げていますので、増強委員会だけでなく全員で行動していきたいと思っております。退会防止についても気を抜かず進めて参ります。

社会奉仕活動としては、加茂社会福祉協議会の協力を頂き、一人暮らしのお年寄りを日帰りバス旅行にお誘いする「さわやかドライブ」を計画しました。普段は中々遠出できないでいらっしゃる方たちもとても楽しみにしていただき、私たちにとって、とてもやりがいのある活動です。複数年行っていて、今年度はロータリー財団に地区補助金申請をして行う予定にしておりました。しかしながら、COVID-19 の感染拡大に伴い中止せざるを得ないと判断するに至りました。とても残念です。地区財団委員会より他の事業も考えてはとお声掛け頂き、社会福祉協議会へ AED を寄贈する事に致しました。市内の公共施設にはもれなく設置されていますが、屋外の活動時に使用することができるようになり、安心して活動して頂きたいと思っております。

新しい仲間を増やし、新しい考え方に触れロータリークラブを楽しみたいと思っておりますが、一日も早く COVID-19 の感染拡大が収束することを願っております。



## クラブの近況報告

長岡西ロータリークラブ  
会長 西方 太地

本年度、長岡西ロータリークラブの会長を仰せつかっております西方太地と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

COVID-19 が収束しない中、どのクラブにおいてもクラブ運営について難しい舵取りをされていることかと存じます。

長岡西ロータリークラブは、本年度の当クラブのテーマの一つでもある「親睦」に力を入れています。親睦の機会を確保するためにも例会開催は通常通り行っています。また、夜例会についても感染対策を講じた上で行っています。人と人とでつながるロータリーだからこそ、親睦の機会を大切にしたいと感じています。そして10月には、ロータリアンの職場見学をさせていただきました。3月にも同様の職場見学を予定しています。職場見学をすることで、ロータリアンの皆様がどのような事業をしているかを知る機会にもなります。親睦の機会をなるべく多く確保することで、会員間の交流が盛んになるように取り組んでいます。

社会奉仕活動については、地区補助金を活用し長岡市の子育ての駅（てくてく、ぐんぐん等）に絵本の寄贈を行うプロジェクトを実行しています。このような時期だからこそ、少しでもロータリー活動を充実させ、地域とのつながりを大切にしたいと考えています。下期においても、社会奉仕活動の一つとして、長岡のフードバンクに対する支援や協力を検討しています。奉仕活動を行う事はロータリアンの使命であり喜びでもあります。

上期は、長岡西ロータリークラブの皆様を支えられ助けられ、何とか会長職を務めさせて頂くことができました。下期も引き続き皆様を支えられ、会長職を全うする所存であります。





## 上期活動報告と 1 月事業予定

高田ロータリークラブ  
会長 中田 正

高田ロータリークラブでは、8月6日開催予定だった納涼会の中止以外は感染対策を十分行った上で計画通り上期の活動を行いました。

高尾ガバナーにはリアルで公式訪問に来て頂き、直接ガバナーのお話しを伺い、質問にもお答え頂き大変有意義な公式訪問でした。

また、通常例会にて ZOOM を利用したリモートでの卓話も 2 回行いました。

国際奉仕活動として、会員個人が行ってきたスリランカアイバンク協会への奉仕活動をクラブとして支援し、スリランカアイバンク協会のニーズを把握し、新型コロナウイルス抗原検査キット 125 個、角膜保存・輸送用梱包材 20 個を高田ロータリークラブから寄贈いたしました。

11月11日から23日の期間「福祉 × アート × デザイン展 II」を無印良品上越店において開催し、障害のある方のデザインを商品化、販売し、その売上の中からデザイン料をデザイナーにお渡しし、売上から経費を除いた全額を「フードバンクじょうえつ」に寄付しました。障害のある方が生活困窮者をサポートする事業となりました。

会員増強は密な活動をできないため、なかなか進んでいません。

1月はコロナウイルス・オミクロン株の急拡大で例会は飲食を避け、お弁当を持ち帰る形式で対応予定。第7分区内の3クラブでの合同例会は、飲食を伴う大人数での会合となるため延期としました。今後の活動は、コロナウイルスの感染状況を見ながら柔軟に対応して行く予定です。



## 第2560地区 2021-22年度12月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	372	378	33	6
新発田	2	28.0%	93	93	0	0
村上	4	17.9%	38	39	9	1
水原	4	21.9%	32	32	1	0
中条	4	90.9%	41	44	3	3
新発田城南	4	20.5%	40	39	3	-1
豊栄	3	13.0%	20	23	2	3
新発田中央	4	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	4	52.8%	36	36	6	0
村上岩船	3	25.9%	28	27	5	-1
第2分區(9クラブ)	／	-	433	449	25	16
新潟	3	22.7%	82	88	2	6
新潟東	4	16.7%	62	66	8	4
新潟南	4	32.4%	105	108	3	3
佐渡	3	100.0%	6	5	0	-1
新潟西	4	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	3	12.2%	40	41	4	1
新潟北	3	28.9%	37	38	0	1
新潟中央	3	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	3	52.4%	41	42	6	1
第3分區(6クラブ)	／	-	97	99	5	2
新津	4	11.8%	17	17	1	0
村松	4	63.6%	12	11	0	-1
五泉	3	0.0%	11	11	1	0
白根	4	30.0%	29	30	1	1
新津中央	3	29.2%	22	24	2	2
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	-	366	360	28	-6
三条	4	12.3%	56	57	0	1
燕	4	6.3%	34	32	3	-2
加茂	4	8.8%	33	34	6	1
三条南	3	15.4%	44	39	2	-5
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	4	4.8%	21	21	1	0
吉田	3	6.5%	28	31	3	3
三条北	4	5.4%	58	56	2	-2
巻	3	0.0%	25	23	3	-2
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	4	6.3%	31	32	3	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	296	299	24	3
長岡	3	80.0%	45	45	3	0
柏崎	3	2.4%	41	41	0	0
長岡東	3	27.8%	52	54	3	2
柏崎東	2	17.4%	45	46	3	1
栃尾	4	12.0%	25	25	0	0
長岡西	3	20.4%	50	49	3	-1
柏崎中央	3	23.1%	38	39	12	1
第6分區(6クラブ)	／	-	122	125	10	3
十日町	3	28.1%	32	32	4	0
小千谷	3	10.3%	30	29	3	-1
雪国魚沼	4	20.8%	20	24	2	4
十日町北	3	0.0%	18	18	0	0
津南	3	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分區(7クラブ)	／	-	312	319	23	7
高田	4	31.5%	72	73	5	1
直江津	3	31.9%	69	69	6	0
新井妙高	4	11.8%	31	34	1	3
糸魚川	4	72.1%	41	43	3	2
高田東	3	63.9%	36	36	3	0
糸魚川中央	4	51.9%	28	28	0	0
越後春日山	4	97.2%	35	36	5	1

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
12月末 会員数	2,029	人
女性会員数	148	人
純増減会員数	31	人
My Rotaryアカウント登録率	28.4	%

地区主要行事予定

2022年1月27日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高尾年度	2月	平和と紛争予防／紛争解決月間			
		5	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
		6	(日)	地区RA 委員長・RA 地区代表 会議	オンライン
		7~15	(月~火)	国際協議会	バーチャル
		11	(金)	加茂RC創立60周年記念式典 →5/14に延期	清雲亭山重
		19	(土)	国際協議会報告・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ホテルオークラ新潟
		26	(土)	第2回地区ロータリー財団セミナー 兼 補助金管理セミナー	ANAクラウンプラザホテル
	3月	水と衛生月間			
		5	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
		12	(土)	ローターアクト地区大会	デュオセレッソ
		19	(土)	第2分区IM (片山G補佐・新潟東) →6/26に延期	ANAクラウンプラザホテル
		26	(土)	高橋年度 クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)	ホテルイタリア軒
		27	(日)	地区リーダー向け会議「ロータリーと危機管理」(RIJYEM)	
		26~27	(土~日)	ローターアクト全国研修会	神戸ファッションマート

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
越後春日山	北村 博幸	2021.11.01	株式会社キャップ広告制作事務所	代表取締役会長	広告代理・広告制作
糸魚川中央	山田 卓矢	2021.12.01	(株)真砂電機製作所	代表取締役	重電機器販売修理
新発田城南	三宅 浩	2021.12.16	司法書士法人 三宅國澤事務所	社員	司法書士
巻	遠藤 文雄	2022.01.01	アプライズ法務総合事務所	代表	司法書士・行政書士
新井妙高	安原 裕也	2022.01.05	株式会社 ゆうき	代表取締役	農業
新井妙高	宮本 尊史	2022.01.05	有限会社 ミヤシタ設計	代表取締役	建築設計

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
糸魚川中央	月岡 精一	2021.12.31	北陸アグリ開発(株)	代表取締役社長	土壌改良材製造	



## 2022年も年始からCOVID-19との闘いが続く

昨年の2月号コーディネーターニュースに「新型コロナウイルス感染拡大が第3波！緊急事態宣言」と題して書かせていただきましたが、1年経ってまたもや、日本では第6波がオミクロン株によってもたらされ、年末から20歳・30歳台を中心に急激に感染者が増え始め各地で「まん延防止等重点措置」を検討しております。

これから3～4週間後に高齢者にも感染者が広がり医療ひっ迫状況に追い込まれていくのではと危惧されます。メルクの飲み薬が出て、2月にはファイザーの飲み薬が適用されると治療に明るい兆しがありますが、高齢者の方々に3回目のワクチン接種が終わるのには数か月、4月乃至5月までかかるでしょうから油断せず、感染予防対策を万全にいたしましょう。

2022年7月からローターアクトクラブ会員が人頭分担金を納入することになっております。人頭分担金の件、地区の委員会にローターアクトの参加、またロータリー財団への寄付、補助金の使用など、多くの事をロータリアンとローターアクトとが交流できる機会を今まで以上に増やし話し合っ上りて上記の内容の方向付けが急がれます。もうしっかり方向付けが済んでいる地区・クラブも多いのですが、国際ロータリーの会員はロータリークラブとローターアクトクラブであるという事変わったことをロータリアンとローターアクトがしっかり捉えてそれぞれの立場でロータリー活動していく事が大切でしょう。

もう一点の話題として (以下My ROTARYより)

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作りだすことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

My ROTARYにあるこのDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を各クラブの中で会員同士がどのような言動が適切かを話し合いそして行動に移していきましょう。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一(東京葛飾東RC)

オミクロン株が日本中にまん延している中、ロータリー活動にも支障が出ていますが、ロータリアンの皆様には大変な日々が続いておられることとお察しいたします。我が2760地区でも公共イメージ向上に最善手段であるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)を4月に予定しておりますが、開催できるか心配しております。

そんな中で、2760地区では一般の皆様にもロータリー活動を知っていただく手段として「国際ロータリー第2760地区の活動」と題して小冊子を発行いたしました。この冊子は地区84クラブの活動や地区委員会の活動を一般の方に紹介するために公共イメージ向上委員会が主となり発行し、各方面にも配りました。この活動はどこの地区でも行っている活動ではあるかと思いますが、公共イメージ向上委員会が中心となり、実施することに意味があり、是非各地区においても行っていただきたいと考えています。冊子の内容についてご質問等ございましたら、2760地区の事務局までお問い合わせいただければと存じます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一(瀬戸RC)



## 1. 当会第8代理事長に若林紀男氏が就任

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、去る11月28日に当財団理事長の齋藤直美が急逝し、同日をもって退任いたしました。理事長在任中に賜りました皆様からのご厚情に厚く御礼申し上げます。後任の理事長（代表理事）には、12月17日の理事会におきまして、理事 若林紀男氏（第2660地区 大阪東RC）が選任されました。

### < PROFILE > 若林 紀男（わかばやし のりお）

1982年大阪東RC入会。2003-04年度国際ロータリー（RI）第2660地区ガバナー。2010年RI規定審議会代表議員、2017-18年度RI第3ゾーンロータリー・コーディネーターなどを歴任。当財団においては、2002-04評議員、07-10学務・学友委員（09-10同委員長）、12-14評議員（公益法人移行後）、14-16常務理事、16-20副理事長、20-21監事、21-理事（組織活性化担当）を経て、2021年12月第8代理事長に就任。



このたび、故・齋藤直美前理事長の後任として、図らずも理事長職を拝命いたしました。前理事長の思いを受け継ぎ、事業創設70年の歴史と累計2万人以上の米山学友を有するロータリー米山記念奨学事業のさらなる発展を目指し、情熱を持って精一杯努める所存です。

当事業は「支援」と「人財育成」が両輪であると考えます。巣立った学友の活躍を知り、“人財”が多く育っているという実感そのものが、さらなる“支援”への後押しとなります。奨学生時代だけでなく、奨学期間が終わったあとも彼らとのパイプを太くし、学友の活躍を共有し、一人でも多くの方々にこの奨学金制度の意義を実感していただけたらと存じます。どうか皆様の温かいご厚志、奨学生へのご指導・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —

12月までの寄付金は前年同期と比べて2.0%減（普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:2.1%減）、約1,700万円の減少となりました。しかし、12月単月の特別寄付金については前年よりも500万円増となっており、皆さまからのご寄付に感謝申し上げます。また、「2021年度下期普通寄

付金のお願い」を当会から直接各クラブへお送りいたしました（メールアドレス登録のないクラブはガバナー事務所経由）。年初からコロナ禍でのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 学友からの高額寄付



張忠信さん（台湾／1961-65／東京日本橋RC）から100万円の個人寄付

「米山奨学金をいただいたお陰で今まで自分のやりたいことができた」とのこと。今年90歳となる張さんは東京大学大学院博士課程卒、指導教官は建築家の故・丹下健三氏でした。



千葉 鴻儀さん（中国／1990-91／熊本グリーンRC）から200万円の法人寄付

「小生が起業した会社から寄付させていただきます。少額で申し訳ありませんが、多少の恩返しになれば…」とのこと。廃プラスチック・金属リサイクルにより地球資源を守る会社を経営されています。

### 3. 台湾米山学友会総会 — 新理事長が決定 —

2021年12月4日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にYouTubeでもライブ配信されました。毎年、日本をはじめ海外からの参加者が多い同大会ですが、今回も新型コロナウイルスの影響を受け、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生らが集まりました。

会の冒頭で、11月に亡くなった当会齋藤直美前理事長への哀悼の意を示し、全員で1分間の黙祷が捧げられました。続いて、山崎淳一副理事長と柚木裕子事務局長、韓国・台湾・関西・タイなどからのビデオメッセージ、2023年に予定されている「再会 in 関東」の案内が上映されました。

同学友会では、台湾で学ぶ日本人留学生への奨学支援を長年続けており、今年度の奨学生が流暢な中国語で感

謝のスピーチをしたほか、元奨学生も大会に参加して、久しぶりの交流を楽しみました。奨学事業へ貢献している一人、蔡衍榮氏（台北仁愛RC会員）は挨拶のなかで、「ワクチンが不足していた台湾へ手を差し伸べてくれた日本への感謝を込め、来年は3人分の奨学金を寄付する」と、力強く述べました。

今回は役員改選の年にあたり、投票の結果、第9代理事長に林志昇さん（1992-94/津RC 現在：台北南區RC会員）が選出されました。



### 4. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

2022-23年度地区米山記念奨学委員長の第1回セミナーを12月10日、感染対策を徹底した都内会場とZoom併用で開催しました。会場参加は18名、オンライン参加15名で、午前10時半から午後4時までの盛りだくさんの研修となりました。

午前の初任者研修では、水野 功副理事長からの挨拶、事務局からの各種説明に続き、事例発表として、第



2660地区（大阪府）の坂田妙子次期米山奨学委員長から、地区の学友会と連携した独自のメンター制度等について、実際の映像を交えてご報告いただきました。

午後の合同研修では、常務理事会の付託で設けられた学友会関連検討小委員会委員長の滝澤功治常務理事から、小委員会でもとめた国内/海外米山学友会モデル会則案と学友会規程案の骨子が説明されました。その後、5グループに分かれて「理解促進から寄付増進へ」「選考について」「奨学生育成から学友会」をテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、山本博史選考・学務委員長の講評で締めくくられました。



昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。